



令和8年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

令和7年11月7日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中村 洋一

TEL 0422-38-1121

半期報告書提出予定日 令和7年11月14日

配当支払開始予定日

令和7年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期中間期	87,946	21.5	2,829	50.2	3,242	46.9	1,293	65.1
7年3月期中間期	72,387	22.6	1,884	17.3	2,206	17.1	783	41.0

(注) 包括利益 8年3月期中間期 1,316百万円 (60.1%) 7年3月期中間期 822百万円 (41.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期中間期	67.85	—
7年3月期中間期	41.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期中間期	110,594	46,702	42.2
7年3月期	104,155	45,615	43.8

(参考) 自己資本 8年3月期中間期 46,702百万円 7年3月期 45,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
8年3月期	—	12.00	—	—	—
8年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,000	16.1	5,000	13.5	5,900	14.6	2,200	0.6	115.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日公表(令和7年11月7日)の「令和8年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

8年3月期中間期	19,063,968 株	7年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	655 株	7年3月期	625 株
期中平均株式数 (中間期)	19,063,329 株	7年3月期中間期	19,063,495 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、令和7年11月12日に当社Webサイトにて公開する予定です。

<https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況	２
（１）当中間期の経営成績の概況.....	２
（２）当中間期の財政状態の概況.....	２
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	３
２．中間連結財務諸表及び主な注記	４
（１）中間連結貸借対照表	４
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	６
中間連結損益計算書	６
中間連結包括利益計算書	７
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書	８
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項	９
（継続企業の前提に関する注記）	９
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	９
（セグメント情報等の注記）	９

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や、賃上げ等の雇用環境の改善により景気の回復基調が継続している一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まりや物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原料、資材、人件費、エネルギー単価の高騰等による影響、消費者の衛生意識への高まり等、経営環境は依然厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、“みんなの食卓でありたい”をスローガンに、「新規出店」「既存店改装」「人材投資」の持続的成長投資に重点を置き、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態40店舗、鮪業態4店舗、海外・その他業態7店舗（うちF C 2店舗）の合計51店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態8店舗については撤退し、海外・その他業態3店舗についてF C契約の解除をおこない、当中間連結会計期間末の店舗数はF C店を含め、1,405店舗（うち国内F C 5店舗、海外24店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態1,140店舗、とんかつ業態193店舗、鮪業態21店舗、海外・その他の業態51店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、全面改装2店舗、一部改装124店舗の合計126店舗の店舗改装を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

また、人材投資として、ベースアップ、初任給の引き上げ等の待遇改善等を展開してまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、松屋の世界紀行シリーズとしてセネガル家庭料理「マフェ」、韓国発・旨辛グルメ「ロゼクリームチキン」、スリランカ料理「デビルチキン」、日越同時発売の「コムタム風ポークライス」、ジャマイカ料理「ジャークチキン」、その他「桜クリームシチュー」「ニンニク野菜牛めし」「チーズバーガー丼」「チキンケパブ丼」「うなたま丼」「今治焼豚玉子飯」「ドライグリーンカレー」「カルビホルモン丼」「シビ辛麻辣トンテキ定食」等の新商品の販売をいたしました。

これらの取り組みの結果、当中間連結会計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比112.7%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比21.5%増の879億46百万円となりました。

エネルギー費、各種調達価格の上昇等により、原価率は前年同期の35.1%から37.1%と上昇いたしました。一方、売上高の増加により、固定費の占める割合が低下したこと等により、販売費及び一般管理費につきましては、前年同期の62.3%から59.7%へと改善いたしました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているF Lコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の66.5%から66.8%となっております。

以上の結果、営業利益は前年同期比50.1%増の28億29百万円、経常利益は前年同期比46.9%増の32億42百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比65.1%増の12億93百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は1,105億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億39百万円増加いたしました。このうち、流動資産は354億47百万円となり、現金及び預金が減少した一方、原材料及び貯蔵品、商品及び製品が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ14億79百万円増加いたしました。また、固定資産は751億47百万円となり、新規出店や改装実施、工場生産設備などへの投資による有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ49億60百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における負債は638億92百万円となり、未払法人税、賞与の支払い、長期借入金の返済等の減少要因があった一方、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ53億52百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間末における純資産は467億2百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ10億87百万円増加いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の43.8%から42.2%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、136億93百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は43億62百万円（前年同期は19億45百万円の収入）となりました。

これは「減価償却費及びその他の償却費」31億95百万円や、「税金等調整前中間純利益」27億2百万円、「減損損失」5億24百万円、「未払消費税等の増減額」3億30百万円といった資金増加要因があった一方、「棚卸資産の増減額」17億83百万円や、「法人税等の支払額」14億57百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は98億39百万円（前年同期は84億76百万円の支出）となりました。

これは新規出店・既存店改装や工場生産設備等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」86億53百万円や、「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」10億22百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は54億5百万円（前年同期は24億37百万円の収入）となりました。

これは「短期借入による収入」100億円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」37億20百万円や、「リース債務の返済による支出」4億82百万円、「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済環境は、景気の回復基調が継続しているものの、不安定な国際環境により、今後の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境下の中、今後も食のインフラとしての責務を果たすべく、新商品の販売等の販売促進活動の強化、新規出店の拡大、既存店舗の改装等を積極的に実施し、業容の拡大を目指してまいります。同時に、コスト構造改革を推し進め、収益向上を図ってまいります。

令和8年3月期の連結業績予想数値につきましては、本日公表（令和7年11月7日）の「令和8年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,867,291	16,793,347
受取手形、売掛金及び契約資産	5,211,784	5,153,624
商品及び製品	1,653,380	2,165,940
原材料及び貯蔵品	7,803,251	8,956,603
その他	2,432,663	2,378,186
流動資産合計	33,968,372	35,447,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,480,456	32,780,956
機械装置及び運搬具（純額）	2,550,170	2,450,137
工具、器具及び備品（純額）	4,461,249	4,977,581
リース資産（純額）	2,365,742	2,119,195
土地	9,344,473	9,344,473
建設仮勘定	437,058	1,120,711
その他（純額）	706,894	785,998
有形固定資産合計	49,346,045	53,579,055
無形固定資産		
ソフトウェア	437,334	380,787
その他	78,845	137,394
無形固定資産合計	516,180	518,182
投資その他の資産		
投資有価証券	102,940	102,936
敷金及び保証金	13,244,947	13,710,799
長期前払費用	524,474	596,278
店舗賃借仮勘定	735,158	821,923
繰延税金資産	3,625,314	3,607,233
投資不動産（純額）	87,250	86,651
その他	2,014,517	2,134,510
貸倒引当金	△10,166	△10,394
投資その他の資産合計	20,324,436	21,049,939
固定資産合計	70,186,662	75,147,176
資産合計	104,155,034	110,594,879

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,414,896	4,223,983
短期借入金	—	10,000,000
1年内返済予定の長期借入金	7,354,524	6,910,788
未払金	7,610,299	6,776,511
リース債務	922,746	863,619
未払法人税等	1,487,392	1,411,009
賞与引当金	1,380,540	1,331,461
その他	2,828,602	3,056,477
流動負債合計	25,999,001	34,573,850
固定負債		
長期借入金	24,664,903	21,388,247
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	2,428,675	2,300,592
資産除去債務	4,730,724	4,908,524
繰延税金負債	2,359	1,811
その他	146,180	151,226
固定負債合計	32,540,643	29,318,201
負債合計	58,539,645	63,892,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,976,404	6,976,404
利益剰余金	31,876,698	32,941,359
自己株式	△2,638	△2,816
株主資本合計	45,506,396	46,570,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,587	1,585
為替換算調整勘定	107,405	130,362
その他の包括利益累計額合計	108,992	131,947
純資産合計	45,615,389	46,702,827
負債純資産合計	104,155,034	110,594,879

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日）
売上高	72,387,270	87,946,777
売上原価	25,429,899	32,641,423
売上総利益	46,957,370	55,305,354
販売費及び一般管理費	45,072,825	52,475,420
営業利益	1,884,544	2,829,933
営業外収益		
受取利息	17,297	29,331
受取配当金	1,875	2,085
受取賃貸料	98,314	103,514
業務受託料	165,780	341,016
その他	274,371	223,766
営業外収益合計	557,640	699,713
営業外費用		
支払利息	84,364	169,468
賃貸費用	95,884	102,698
その他	55,020	15,206
営業外費用合計	235,270	287,374
経常利益	2,206,915	3,242,271
特別利益		
固定資産売却益	147	48
受取保険金	—	1,100
収用補償金	41,003	—
その他	—	90
特別利益合計	41,151	1,238
特別損失		
固定資産除却損	7,710	3,893
店舗閉鎖損失	37	5,005
固定資産売却損	4,431	743
減損損失	407,809	524,842
和解金	52,803	4,200
その他	4,126	2,232
特別損失合計	476,917	540,917
税金等調整前中間純利益	1,771,148	2,702,592
法人税、住民税及び事業税	860,307	1,391,297
法人税等調整額	127,593	17,874
法人税等合計	987,900	1,409,171
中間純利益	783,247	1,293,421
親会社株主に帰属する中間純利益	783,247	1,293,421

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日）
中間純利益	783,247	1,293,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220	△2
為替換算調整勘定	39,139	22,957
その他の包括利益合計	38,918	22,955
中間包括利益	822,166	1,316,376
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	822,166	1,316,376
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,771,148	2,702,592
減価償却費及びその他の償却費	2,597,887	3,195,053
減損損失	407,809	524,842
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,230	△49,340
受取利息及び受取配当金	△19,172	△31,416
支払利息	84,364	169,468
有形固定資産除売却損益(△は益)	△29,009	4,589
店舗閉鎖損失	37	5,005
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	1,253,945	1,122,734
売上債権の増減額(△は増加)	119,499	57,408
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,955,843	△1,783,604
仕入債務の増減額(△は減少)	1,381,261	△190,493
未払消費税等の増減額(△は減少)	△899,969	330,630
未収消費税等の増減額(△は増加)	28,758	—
その他	△1,158,179	△237,055
小計	3,509,308	5,820,415
法人税等の支払額	△1,563,453	△1,457,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,945,855	4,362,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△6,968,965	△8,653,949
有形固定資産の売却及び収用等による収入	41,426	138
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△1,054,770	△1,022,234
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	127,163	42,602
利息及び配当金の受取額	5,722	9,984
関係会社株式の取得による支出	△501,899	△45,045
その他	△125,375	△170,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,476,699	△9,839,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,000,000	10,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,810,448	△3,720,392
リース債務の返済による支出	△447,104	△482,943
自己株式の取得による支出	△577	△177
利息の支払額	△76,085	△161,983
配当金の支払額	△228,762	△228,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,437,021	5,405,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,947	△3,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,054,874	△73,944
現金及び現金同等物の期首残高	16,020,428	13,767,291
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,965,553	13,693,347

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、令和7年6月26日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払を行いました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,760千円減少しております。

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
令和7年6月26日 定時株主総会	普通株式	228,760	12	令和7年3月31日	令和7年6月27日	利益剰余金

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自令和6年4月1日 至令和6年9月30日）及び当中間連結会計期間（自令和7年4月1日 至令和7年9月30日）

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。